かこのちゃん©加古川市

議会だより かこがわ

編集発行 加古川市議会事務局

議会だより かこがわ No.239 令和8年(2026年) 2月1日発行

編集・発行／加古川市議会事務局
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
TEL 079-427-9303 FAX 079-424-9043

「キラキラ雪が降ってきた！」氷丘南幼稚園（４歳児・５歳児合同制作）
令和7年度は、「だいすき　ぼくらの町　ひおか」をテーマに遊んできたことで、ひおかの町に親しみが沸き、どんどん好きになったこどもたち。そんなひおかの町に雪が降ったら…とキラキラの雪を降らせ、「雪だるまを作りたいな」「雪合戦したい！！」と夢と笑顔が広がっています。

もくじ

P2　●12 月定例会の概要、議員研修会の実施、DATA BOX
P3　●審議の結果
P4　●常任委員会審査概要
P5～10　●一般質問、閉会中の常任委員会活動
P11　●常任委員会視察レポート
P12　●議会の主な動き、視察の受け入れ状況、次回定例会のお知らせ

12月定例会
No.239
令和8年2月1日発行

INFORMATION

● 主な動きをお知らせします

- 10月17日　総務常任委員会
- 10月20日　福祉教育常任委員会
- 10月21日　産業環境常任委員会
- 10月28日　議会運営委員会
- 11月19日　総務常任委員会
- 11月20日　福祉教育常任委員会
- 11月21日　産業環境常任委員会
- 11月26日　議会運営委員会
- 12月３日　本会議（定例会）第1日、議会運営委員会
- 12月４日　本会議（定例会）第2日
- 12月５日　本会議（定例会）第3日
- 12月９日　総務常任委員会
- 12月10日　福祉教育常任委員会
- 12月11日　産業環境常任委員会
- 12月19日　本会議（定例会）第4日、福祉教育常任委員会、議会運営委員会

● 視察の受け入れ状況

- 10月14日　栃木県鹿沼市議会「総務常任委員会」DXを活用した地域公共交通について
- 10月24日　東京都三鷹市議会「総務委員会」スマートシティに関する取組（加古川市版Decidim）について
- 10月27日　埼玉県戸田市議会「文教･建設常任委員会」都市整備におけるスマートシティ推進事業の取組について
- 11月５日　愛知県みよし市議会「企画総務委員会」オープンデータの活用について
- 11月６日　愛知県美浜町議会「文教厚生常任委員会、総務産業常任委員会」「加古川市民27万人の力で20%ごみ減量を!」をスローガンに掲げたごみ減量の取り組みについて
- 11月12日　北海道旭川市議会「子育て文教常任委員会」部活動地域展開に向けた取組について
- 11月14日　福岡県久留米市議会「教育民生常任委員会」義務教育学校（両荘みらい学園）について
- 11月18日　福岡県大牟田市議会「市民教育厚生委員会」地域クラブ「かこ☆くら」について

● 次回定例会のお知らせ　開催予定　2/20～3/24

2 February

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 本会議	21
22	23	24	25	26	27 委員会	28

3 March

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6	7
8	9 本会議	10 本会議	11 委員会	12 委員会	13 委員会	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 本会議	25	26	27	28
29	30	31				

- ２月20日(金)　令和7年度補正予算上程(質疑 ･委員会付託)
  施政方針
  令和8年度予算及び条例･単行議案等上程(提案説明)
- ２月27日(金)　各常任委員会(補正予算)
- ３月３日(火)　代表質問
- ３月４日(水)　一般質問
- ３月５日(木)　一般質問
- ３月９日(月)　委員会審査報告(質疑･討論･採決)
  令和８年度予算(質疑･委員会付託)
- ３月10日(火)　条例･単行議案等(質疑･委員会付託)
- ３月11日(水)　総務常任委員会
- ３月12日(木)　福祉教育常任委員会
- ３月13日(金)　産業環境常任委員会
  （令和8年度予算等）
- ３月24日(火)　委員会審査報告(質疑･討論･採決)
  追加議案上程(即決)

※本会議と委員会は、いずれも午前９時30分に開会する予定です。会議の日程等は変更されることがあります。詳しくは、ホームページをご覧いただくか、議会事務局（☎４２７－９３０３）へお問い合わせください。

市議会ホームページ　加古川市議会　検索

加古川市議会公式フェイスブック(Facebook)

市議会映像配信　加古川市議会映像　検索

12月 定例会の概要

12月3日～12月19日

令和7年第5回市議会定例会は、12月3日から12月19日までの17日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、32億4千545万1千円を増額する令和7年度一般会計補正予算をはじめ、加古川市立学校設置条例等の一部改正や指定管理者の指定等について議決しました。

主な議案の概要

幼稚園および保育所が再編されます

再編計画に基づき幼稚園等の廃止や認定こども園を設置するための条例を可決しました。これにより、加古川幼稚園、鳩里幼稚園、鳩里保育園を統合し、かこいろこども園が設置され、野口保育園が野口こども園に移行されます。また、氷丘幼稚園と別府町幼稚園は閉園します。

可決された意見書

議員提出議案として「学校給食の無償化に関する意見書」が提出され、全会一致で可決しました。

人事案件

次の人事案件に同意・推薦しました。

○加古川市固定資産評価審査委員会委員

松井　隆文さん　再任

○加古川市人権擁護委員

岡田　裕之さん　再任

的野　登喜子さん　新任

指定管理者の指定

次の施設について、指定管理者の指定を議決しました。

●加古川市立地域産業振興センター

地域産業振興センター運営協議会

●加古川市立しろやま農業研修センター

しろやま農業研修センター管理運営協議会

●加古川市立農村環境改善センター

農村環境改善センター運営協議会

●東はりま夜間休日応急診療センター

公益財団法人東播臨海救急医療協会

●加古川市営住宅及び共同施設

日本管財株式会社

●加古川市立加古川図書館

株式会社図書館流通センター

※指定の期間は、6件とも令和8年4月1日から令和13年3月31日まで。

◇議案件数一覧◇

区分	予算	条例	単行	契約	人事	意見書	合計
市長提出	10	13	13	3	3	－	42
議員提出	－	－	－	－	－	1	1

DATA BOX

138件

これは何の数字？

1年間に提出された議案の数です。

令和7年に行われた定例会4回と臨時会1回で提出された議案等の合計数です。主な内訳は、条例37件、予算41件、決算12件となっています。このように市議会では、多くの議案が提出され議決されています。議案審議の様子はどなたでも傍聴していただけるほか、ホームページでは本会議のライブ配信や録画配信、会議録の公開も実施していますので、ぜひご覧ください。

ホームページにアクセスできる二次元コードをP12に掲載しています。

議員研修会を実施しました

市議会では、議員のさらなる資質向上を図るために議員研修会を実施しています。

11月17日に、議会改革に関するさまざまな手法を知ることにより、意識向上を図ることを目的とした研修会をオンライン形式で実施しました。研修では、茨城県取手市総務部情報管理課長の岩﨑弘宜氏より議会でのＩＣＴ活用をテーマにご講義いただき、議会改革やさらなるＩＣＴ化について考えを深めました。

●審議の結果

市長提出議案

※○は賛成、×は反対。

番号	件名	結果	創	公	市	維	未	無
議案81号	令和7年度加古川市一般会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○	×
議案82号	令和7年度加古川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案83号	令和7年度加古川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案84号	令和7年度加古川市介護保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案85号	令和7年度加古川市公園墓地造成事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案86号	令和7年度加古川市夜間休日応急診療事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案87号	令和7年度加古川市学校給食費管理事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案88号	令和7年度加古川市水道事業会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案89号	令和7年度加古川市下水道事業会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案90号	加古川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案91号	加古川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案92号	加古川市印鑑条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案93号	加古川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案94号	加古川市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	×	○	×
議案95号	加古川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案96号	加古川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	×	○	×
議案97号	加古川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案98号	加古川市会計年度任用職員の給与及び報酬等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案99号	加古川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案100号	加古川市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案101号	加古川市立学校設置条例等の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案102号	加古川市火災予防条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案103号	地方独立行政法人加古川市民病院機構第4期中期目標を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案104号	市道路線認定のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案105号	市道路線廃止のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案106号	訴えの提起のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案107号	指定管理者の指定のこと（加古川市立地域産業振興センター）	可決	○	○	○	○	○	○
議案108号	指定管理者の指定のこと（加古川市立しろやま農業研修センター）	可決	○	○	○	○	○	○
議案109号	指定管理者の指定のこと（加古川市立農村環境改善センター）	可決	○	○	○	○	○	○
議案110号	指定管理者の指定のこと（東はりま夜間休日応急診療センター）	可決	○	○	○	○	○	○
議案111号	指定管理者の指定のこと（加古川市営住宅及び共同施設）	可決	○	○	○	○	○	×
議案112号	指定管理者の指定のこと（加古川市立加古川図書館）	可決	○	○	○	○	○	×
議案113号	加古川市外2市共有公会堂事務組合の解散のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案114号	加古川市外2市共有公会堂事務組合の解散に伴う財産処分のこと	可決	×	○	○	○	○	×
議案115号	加古川市外2市共有公会堂事務組合規約の一部を変更する規約を定めること	可決	×	○	○	○	○	×
議案116号	旧公設地方卸売市場解体工事請負変更契約締結のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案117号	市営南備後住宅大規模改修工事請負変更契約締結のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案118号	神吉中津線橋梁上部工事請負変更契約締結のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案119号	令和7年度加古川市一般会計補正予算（第5回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案120号	加古川市固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求めること	同意	○	○	○	○	○	○
議案121号及び122号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めること	推薦	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

番号	件名	結果	創	公	市	維	未	無
意見書案3号	学校給食の無償化に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○

請　願

番号	件名	結果	創	公	市	維	未	無
請願4号	市民が利用しやすいかこバスの運行改善と高齢者向けにバス･タクシー優待利用券の交付を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	○

◆会派略称及び所属議員　　令和7年12月19日現在

創生加古川(創)	公明党議員団(公)	かこがわ市民クラブ(市)	加古川維新の会(維)	かこがわ未来の会(未)	無会派(無)
岩本泰典・清水玲子・山本賢吾 藤原繁樹・東田寿啓・大野恭平 西村雅文・松本裕之・織田正樹 玉川英樹・木谷万里 中村亮太（議長）	山﨑兼次・岡田妙子 桃井祥子・白石信一 小林直樹・相良大悟	井上恭子・谷　真康 渡辺征爾・稲次　誠 山本一郎	橋本　南・落合　誠 中山俊明	藤原みつえ・柘植厚人 森田俊和	※会派に属さない議員 立花俊治・橋本和彦

※原則として議長は議案の採決に加わらない。

常任委員会 審査概要

総務常任委員会

委員会開催日 ●12月9日(火)

●主な討論・質疑

条例

加古川市火災予防条例の一部を改正する条例を定めること（可決）

問 感震ブレーカーの普及促進に向けた取組内容は。

答 イベントや講習会、消防訓練、地域の集いの場などにおいて広報活動を行うほか、感震ブレーカーに関するチラシや啓発のぼり旗、懸垂幕等の作成、広報紙や市ホームページなどを活用した普及啓発を行う予定である。

単行

加古川市外2市共有公会堂事務組合の解散のこと（可決）

加古川市外2市共有公会堂事務組合の解散に伴う財産処分のこと（否決）

加古川市外2市共有公会堂事務組合規約の一部を変更する規約を定めること（否決）

問 解散に伴う歳計現金の分配方法について、最近の国勢調査の人口を用いる分賦金の算出方法を準用することに対する見解は。

答 解散に係る分配金の規定がない状況において、規約に定める分賦金の算出基準を準用して分配することが適正であると判断した。

反 どのように土地を処分し、分配するかについては、慎重に議論すべきであり、現行の規約に定める分賦金の算出方法を準用して歳計現金を分配するというのは安易な決め方であると考えることから、本案には賛成できない。

福祉教育常任委員会

委員会開催日 ●12月10日(水)・12月19日(金)

●主な討論・質疑

条例

加古川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めること（可決）

問 乳児等通園支援事業の実施に伴い、事業所において新たにシステムを整備する必要性は。

答 事業所はこども家庭庁が提供するこども誰でも通園制度総合支援システムを利用して予約管理や市への請求書発行を行うことになるため、新たにシステムを整備する必要はない。

補正予算

債務負担行為の小学校運営管理事業について

問 水泳授業指導業務委託1億9千247万8千円について、夏季以外にも水泳授業を実施することへの考えは。

答 現在、民間プール施設を活用した水泳授業は1学期及び2学期に実施しているが、令和8年度は対象校を増やすことから、受託事業者と調整しながら3学期も含めて事業展開することを考えている。

家計応援ギフト配付事業について

問 配付するギフトの内容は。

答 食料品の物価高騰に対する支援事業であることから、食料品を中心に考えている。市からの通知文に記載された2次元コードを読み取り、商品等を選択することになるが、読み取りが難しい市民については、紙のギフトカタログの送付を想定している。

産業環境常任委員会

委員会開催日 ●12月11日(木)

●主な討論・質疑

請願

市民が利用しやすいかこバスの運行改善と高齢者向けにバス・タクシー優待利用券の交付を求める請願書（不採択）

賛 公共交通は単なる移動手段としてだけでなく、孤立防止や健康寿命延伸にも寄与すると考える。外出機会の拡大により、経済にも一定の効果が期待できる。

反 デマンド交通との機能分担や費用対効果、需要予測などの検証が不足しており、安易な増便は財政負担の増大に直結する。

反 かこバスの運行については、地域事情や運転手、予算など様々な状況を総合的に勘案し、利便性の向上につなげていく必要がある。また、限られた予算の中で全ての高齢者に一律でバス・タクシー優待利用券を交付することは、本当に支援が必要な人へ必要な施策が行き届かなくなる問題が発生すると考える。

反 高齢者へのバス・タクシー優待利用券の交付については、先行自治体の取組内容を調査研究するとともに、地域住民による通院サポートや民間事業者による買物支援乗り合い車両等の活動への支援など、地域包括ケアシステムの充実を図ることも必要である。

補正予算

環境管理事業について

問 投資及び出資金2千100万円の積算内容は。

答 地域新電力会社の設立に当たり、運転資金として、2市2町、パートナー事業者及び金融機関で総額5千万円の出資を行うこととしており、そのうち42パーセントを本市が出資するものである。

一般質問

12月議会では16名の議員が質問に立ちました。

市職員の実態と会計年度任用職員の労働条件の改善について

立花　俊治　議員
（無会派）

二次元コード

問 自治体で働く会計年度任用職員の労働条件の改善が求められている。本市の正規職員と会計年度任用職員について、平均年収および年休の付与日数と取得状況はどうか。

答 令和6年度の給与水準では、正規職員の非役職者は約500万円、会計年度任用職員は約280万円である。年休付与日数と令和6年度の取得状況は、正規職員が20日付与で約79パーセント、通年任用の会計年度任用職員が勤続期間により最大20日付与で約84パーセントである。

放課後児童クラブについて

問 令和6年度より15小学校36クラブの放課後児童クラブが民間委託されている。委託によりどのように運営が安定化されているか。委託されている36クラブについて、委託前と令和6年度の決算額の比較はどうか。

答 公営では人材確保が課題だが、民営では欠員時に迅速に人員を配置でき、運営の安定化につながっている。36クラブの費用は、委託前の令和5年度が2億2千592万120円、委託後の令和6年度が2億9千112万1千円である。

その他の質問項目

●市職員の実態と会計年度任用職員の労働条件の改善について［会計年度任用職員の労働条件の改善］●灌漑用池の改修事業に伴う諸問題について［原大池の改修工事計画の現状と課題］

JR加古川線の利用促進について

谷　真康　議員
（かこがわ市民クラブ）

二次元コード

問 本市の地域公共交通プランでは、加古川線の鉄道機能強化策の一つとして新駅設置の検討が明記されている。設置には建設費や採算性など多くの課題があり、新駅を設けても利用者増は見込めないとの見方があることは理解しているが、近年は状況が変化している。昨年リニューアルしたみとろの丘や漕艇センターの利用者増加を踏まえ、厄神駅から市場駅間の新駅設置の必要性と可能性について、見解と今後の方針はどうか。多くの利用者は自家用車で来場しているが、新駅設置により鉄道利用者の増加が期待でき、鉄道利用の促進は環境負荷の軽減にもつながる。市民や施設利用者を対象とした移動手段に関するアンケート調査の実施を含めた交通政策への所見はどうか。

答 JR西日本と協議を重ねてきたが、加古川線利用者数の減少傾向などから新駅設置は困難との回答を得ており、現時点では設置の可能性はない。しかし、みとろの丘や漕艇センターの利用者が増加している状況もあり、引き続き、利用実績やニーズを注視していく。新駅設置にかかわらず、公共交通施策の検討には市民や施設利用者の移動手段に係るニーズ把握は重要であり、アンケートなど効果的な調査手法の検討を進めていく。

その他の質問項目

●JR加古川線の利用促進について［沿線自治体や観光施策との連携／JR加古川線の持続的な維持・活用に向けた今後の取組］

選ばれるまちになるためのウェルビーイングを軸とした都市経営の推進について

橋本　南　議員
（加古川維新の会）

二次元コード

問 加古川で暮らすことそのものが価値になるよう、ウェルビーイングを都市ブランドの核として位置づけ、方向性や姿を整理・発信し、広域の中で都市ブランドのポジションを確立することへの考えはどうか。

答 ウェルビーイングの考え方を都市経営に取り入れることは、市民の幸福度を高め、持続可能で調和の取れたまちづくりを行うため重要と考える。令和4年度から地域幸福度指標を導入し、市民の幸福感を定量的に把握する取り組みを進めてきた。現在、「加古川ならではの魅力づくり」を中長期的なまちづくりの方向性として掲げ、「身近な自然を生かした魅力づくり」等を進めている。これらの取り組みは、市民が誇りや愛着を持ち、心身ともに健康で、地域とのつながりを感じながら充実した生活を送ることを支援するものであり、ウェルビーイングの向上に寄与すると考える。今後も取り組みを継続し、日常生活における市民のウェルビーイングの向上を図ることが、本市の都市ブランドを支える基盤であり持続可能な発展につながると考える。

その他の質問項目

●選ばれるまちになるためのウェルビーイングを軸とした都市経営の推進について［ウェルビーイングなまちづくりの推進／加古川版ウェルビーイングアワード創設］

二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各議員の質問の様子を動画でご覧いただけます。

救急体制の現状と拡充・強化について

大野　恭平　議員
（創生加古川）

二次元コード

問　急な体調不良などで救急車を呼ぶべきかを医師や看護師に電話相談できる#7119（救急安心センター事業）は、市民の心強いサービスであり、救急車の適正利用の観点からも現場の負担軽減に寄与すると考える。導入前後の救急出動件数の推移、相談件数と市民への周知状況はどうか。

答　令和7年7月の導入後4カ月の救急出動件数は6千347件で、令和6年の同期間に対し、616件減少している。令和7年10月末現在の管内の相談件数は、医療機関案内が1千54件、救急医療相談が1千513件である。市民へは、SNSへの投稿、ラジオ番組出演、各種イベントでのチラシ配布など、多方面での広報を実施している。

▲救急安心センターひょうご（#7119）のチラシ

問　救急現場でマイナンバーカードを活用するマイナ救急制度は、医療情報などの迅速な確認により搬送時の医療判断がスムーズにでき、受け入れ先医療機関選定の効率化が期待できる。普及に向けた取り組みはどうか。

答　令和8年4月の本格運用に向け、隊員の機器操作のさらなる習熟を図るとともに、市民への広報を実施していく。

その他の質問項目
●救急体制の現状と拡充・強化について［災害時対応力の確保／今後の救急体制の方向性］

鳥獣被害対策に関する市の取り組みについて

織田　正樹　議員
（創生加古川）

二次元コード

問　市北部地域を中心にイノシシやアライグマによる農作物被害が深刻化している。サルやクマの目撃情報も報告されており、鳥獣被害は農林業の経済的損失にとどまらず、住民の安全や地域の暮らしにも大きな影響を及ぼしている。また、里山の荒廃などにより野生鳥獣の生息域が拡大しており、市全体で取り組むべき社会課題である。狩猟者の高齢化や耕作放棄地の増加により、従来の対策には限界があると考えるが、市として課題をどのように認識し、今後どう対応していくのか。

答　狩猟者の高齢化や耕作放棄地の増加はもとより、少子化・高齢化などに伴い、地域でさまざまな対策を講じる担い手の不足が大きな課題の一つであると認識している。現時点では、鳥獣被害に対する抜本的な解決策がない中、防護柵や捕獲おりの設置、猟友会による捕獲など、従来の対策を引き続き行い、被害の拡大を防ぐことが、本市にとって最善の方法であると考える。鳥獣被害対策に係るさまざまな課題の解決に向け、他市の先進事例やデジタル技術を活用した鳥獣被害対策に注視しながら、可能なものから取り組んでいきたい。

その他の質問項目
●鳥獣被害対策に関する市の取り組みについて［市内の害獣出没状況と鳥獣被害の実態／鳥獣被害対策に関する現状認識と対応体制／地域住民との協働による体制整備／担い手育成とDX技術の活用］

ひきこもり支援について

岡田　妙子　議員
（公明党議員団）

二次元コード

問　ひきこもり支援の目標は、就労につなげることや社会参加を促すことと長らく思われてきたが、令和7年1月に厚生労働省が作成したひきこもり支援ハンドブックでは、支援のゴールは自立ではなく自律であり、自律とは、本人の尊厳や主体性、自尊感情を回復することとされている。ひきこもりについて正しく認識するため、家族や支援者、地域の人々等の学ぶ場が必要と考えるがどうか。

答　ひきこもりについて正しく理解することは重要と考える。家族から相談を受ける中で、当事者への接し方などを伝えたり、必要に応じセミナーや家族会を案内している。また、ひきこもり相談を担当する職員は、セミナーや支援者同士が情報交換できるオンラインの場などを活用して学びを深めている。今後は、自立支援会議の場でも相談支援に関わる職員や関係者への研修を実施するなど、学びの場を設けたい。

問　孤立を防ぐため、ひきこもり支援につながる居場所作りは重要だが、現在は提供できる場所が少ない。相談からのつなぎ先がなく、継続した支援が困難である。国のひきこもり支援推進事業の補助金を活用した居場所作りへの所見はどうか。

答　ひきこもり支援に居場所作りは必要不可欠であり、必要に応じ補助金の活用を検討していく。

その他の質問項目
●ひきこもり支援について［ひきこもり支援窓口と連携支援］

小・中学校、義務教育学校の校門セキュリティ強化について

山﨑　兼次　議員
（公明党議員団）

二次元コード

問　警備員を保護者等の判断で配置し、費用を保護者が負担している学校もある。近年、警備費用の高騰や児童生徒数の減少により、状況は厳しくなっている。保護者のみが費用を支払うことへの所見はどうか。現状の校門セキュリティ強化により警備員を外す検討にもつながると思われるが、考えはどうか。

答　全ての市立学校で電子錠等の設置など安全確保に努めており、引き続き機器の老朽度合に応じて公費による更新を行っていく。更新により警備員を外す検討につながり、保護者負担の軽減につながればとは思うが、警備員配置は、より手厚い対応としてPTAなどが判断するものと認識している。

問　20年前に設置したモニターのないインターホンを更新する考えはどうか。

答　既存のインターホンと防犯カメラにより、安全確認ができており、映像が見えづらいなどについても、その都度必要な対応を行っている。しかし、安心安全への対応や技術の進化を踏まえ、インターホンだけの更新も含め、防犯カメラ等の在り方について、安全で効果的な対応の調査・研究を進めることは重要であり、引き続き児童生徒が安心して学校生活を送れるよう取り組んでいく。

その他の質問項目
●医療DXについて［「予防接種事務のデジタル化」導入の進捗状況／「母子保健DX」／マイナンバーカードの普及状況］

市民の健康づくりについて

清水　玲子　議員
（創生加古川）

二次元コード

問　現在の健康支援アプリでは歩数連携がなくやる気につながらない。歩数連携への対応や続けたくなる機能の付与についての考えはどうか。

答　現在使用しているLINEアプリは、情報発信を目的としており、健康データを収集できるものではない。歩数連携など新たな機能を付加するカスタマイズはできないが、利用者が楽しみながら継続して健康づくりに取り組めるよう、発信内容を検討する。

問　健康支援アプリのターゲットは60歳未満の世代とされているが、フレイル予防の観点から高齢者の健康づくり支援も必要である。高齢者が使いやすいアプリ改善についての考えはどうか。

答　アプリの情報発信は登録者への一括発信となるため、幅広い世代で活用できる内容としている。令和6年度の参加者の15％が70歳以上であるため、今後、フレイル予防などについての発信も検討する。

問　効果的な活用に向けたアプリの改善についての考えはどうか。

答　県の市町健康づくり支援事業によりデータ分析などの専門家の派遣を受け、さまざまな観点から助言をもらいながら事業展開について研究している。市民が継続的かつ積極的に健康づくりができるよう、効果的な取り組みを検討する。

その他の質問項目
●市民の健康づくりについて［健康づくり支援事業の現状と運用］

かこバスミニの運行体制、病院ライナーと東神吉町の公共交通の在り方について

山本　賢吾　議員
（創生加古川）

二次元コード

問　かこバスミニの土日運行について、各路線の需要を把握する考えはあるか。一定のニーズがあれば、実証実験的に運行することへの考えはどうか。

答　今後、ニーズ把握に努めながら実証実験の導入について調査研究していく。

問　病院ライナーが仮に廃止になれば、その財源で東神吉町を縦断するルートの設定はできないか。

答　東神吉町の公共交通については、病院ライナーの休廃止を含め、宝殿駅を結節点とした交通再編という形で検討していく。

志方中央地区の産業団地造成にかかる加古川西部地域の交通事情について

問　投松交差点から高畑交差点の間に新設される道路が造成工事に間に合わない場合、工事車両の進入ルートはどうなるか。産業団地操業開始後に通勤車両が生活道路に溢れないよう、県と協議などを行う考えはあるか。加古川西ランプは南北交通のネックだが、この点も考慮して事業を推進しているか。

答　土地区画整理事業として事業化した場合は、早期の道路整備が必要と認識しているが、時間を要するため、工事車両は当面現道を利用する。関連道路への影響を最小限に抑えるよう県等と協議を重ねたい。加古川西ランプでは、県の改良計画があり、整備完了は令和11年から15年とされている。

その他の質問項目
●議案書、予算・決算書等のデジタル化について

二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各議員の質問の様子を動画でご覧いただけます。

災害等による通信インフラ寸断時の危機管理体制について

渡辺　征爾　議員
（かこがわ市民クラブ）

二次元コード

問 現在の生活は、インターネット環境なくして成り立たないといっても過言ではない。その根幹を支える通信インフラの寸断は、自治体や避難所での初動体応や情報収集の支障となり、被害拡大や復旧の遅れなどにつながる。通信ネットワークを迅速に復旧させる手段として低軌道衛星通信サービスのスターリンクがあり、多くの業界で導入に向けた動きがある。自治体では、県が災害拠点病院への導入計画を進めている。本市も、災害などによる既存の通信インフラが使用できなくなった場合に備え、採用を検討する必要があると考える。スターリンクへの評価と導入についての考えはどうか。

答 地上系通信インフラが被害を受ける規模の災害時に衛星通信手段を確保することは、災害時のリスク分散の観点から非常に有効だと考える。スターリンクは、令和4年10月の日本でのサービス提供開始後、令和7年4月には個人のスマートフォンで利用可能になるなど、その技術やサービスは急速に進歩している。スターリンクなどの衛星通信回線の導入は、提供されるサービス内容を見極めつつ、選択肢の一つとして検討していく。

その他の質問項目
●災害等による通信インフラ寸断時の危機管理体制について［既存通信インフラが寸断した場合の危機管理体制／兵庫県下におけるスターリンク導入に向けた動向と予算要望］

播磨臨海地域道路について

橋本　和彦　議員
（無会派）

二次元コード

問 歴史的価値のある物が埋まっている可能性があり、観光資源にもなり得る地域周辺にルートが計画されていることへの所見はどうか。

答 ルート設定は、寺社仏閣など移転困難な施設への影響が最小となるよう考慮されており、周知の埋蔵文化財包蔵地も避けるルート計画となっている。包蔵地以外の埋蔵文化財などが存在する可能性がある箇所は、事業者が県立考古博物館と調整の上、試掘調査などの対応をする。観光資源を有する地域の近くにインターチェンジが整備されることで、観光周遊の促進につながることから、本道路の整備の必要性は高いものと考える。

問 転宅に伴う高齢者の不安などの課題について、市の考えはどうか。

答 最適な移転先などを検討してもらえるよう丁寧な説明と対応に努めていく。

かこ☆くらについて

問 家庭の事情で地域クラブへ参加できない生徒の放課後の過ごし方などへのフォローについて、市の考えはどうか。

答 部活動地域展開により、クラブの複数選択や他の社会活動との両立が可能となるほか、塾や図書館に通うことも選択肢の一つとなる。また、こどもたちが自分の志向に合わせて主体的、計画的に活動できるようになる。今後も、さまざまな選択肢からかこ☆くらを選んでもらえるよう、学校などと連携し取り組みを進める。

職員の働き方改革とモチベーションアップについて

落合　誠　議員
（加古川維新の会）

二次元コード

問 会計年度任用職員制度の適正な賃金について、令和4年12月23日付総務省自治行政局公務員部長通知の中で、最低賃金を含めた地域の実情などに留意することとされている。会計年度任用職員の時給は、県の最低賃金以上になっているのか。また、今後の考え方についてはどうか。

答 現在の時給は1千210円以上であり、県の地域別最低賃金1千116円を超えている。今後、地域別最低賃金が会計年度任用職員の時給を上回った場合は、差額を支給するなど適切に対応する。

2025年大阪・関西万博への加古川市の取組みの振り返りについて

問 子ども招待プロジェクトを活用して何校が参加したのか。感想などについてはどうか。

答 市内7校、1千802人の児童生徒が参加した。大阪・関西万博を訪れ、迫力ある大屋根リングを見て、驚きの声をあげる児童生徒が大変多かったと聞いている。主な感想は「外国の人がいっぱい日本にきていて、すごいと思った」「触ってもいないのに触ったように動く技術がすごいと思った」「未来へ旅行している気分になった」などであった。万博ならではの交流とともに、新しい科学技術に興味をもち、世界各国の文化と多様な価値観に触れ、これからの日本や世界について考えるきっかけになったものと認識している。

適切な受動喫煙の防止及び分煙対策について

稲次　誠　議員
（かこがわ市民クラブ）

二次元コード

問 公共施設などにおける喫煙所の設置状況と、分煙の実施状況はどうか。また、市としてどのような対応を図り、どのような課題を整理しているか。

答 本市の公共施設では、原則、分煙ではなく敷地内禁煙を行っている。敷地周辺において喫煙が散見されるが、ポスターを掲示するなどにより対応している。課題については、受動喫煙の恐れやポイ捨てによる環境への影響が残っていると認識している。

問 公共施設などにおける分煙環境のさらなる整備として、喫煙所の適正配置と周辺での健康被害の防止および美観への配慮を行い、敷地周辺の路上喫煙を防止することへの考えはどうか。

答 分煙環境の整備には、施設利用者や近接の建物への影響も考慮する必要があり、受動喫煙を防ぐことが困難な施設は敷地内禁煙を継続する必要がある。しかし、周辺での喫煙やポイ捨てが後を絶たない施設では、受動喫煙の恐れがない場合に屋外喫煙所の設置が有効となるケースも考えられる。敷地内禁煙を維持しつつ、例外として喫煙所の設置の可否を判断する基準作りを検討していく。

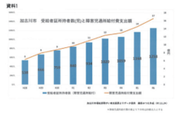
その他の質問項目
●適切な受動喫煙の防止及び分煙対策について［受動喫煙の防止及び分煙に対する周知及び啓発］●市道歩道及び街路樹の管理状況と計画的な整備について［市道歩道の管理の現状及び補修計画／市道歩道の街路樹の管理及び対応］

子どもの発達障害と向精神薬について

藤原　みつえ　議員
（かこがわ未来の会）

二次元コード

問 コンサータなどの向精神薬を処方されているこどもの75パーセントは、遅くとも小学校低学年から処方が始まっている。こうした薬は依存性があり長期服用による副作用のリスクが高いこと、また、エビリファイなどは自殺企図などの重大な副作用があることも知られている。行政として、薬物療法の実態などを把握し、保護者や関係者への情報提供を徹底することが求められる。こども療育センターでの発達障害の治療において、処方している薬は何か。6歳未満のこどもに向精神薬は処方しているか。また、これらの情報をこども療育センターに関わる部署は把握しているか。



▲本市の受給者証所持者数（児）と障害児通所給付費支出額のグラフ（議員作成）

答 困難感が強い場合に限り、ごく一部の人へコンサータやエビリファイなどを処方している。6歳未満にはリスペリドンをごく少量処方することがある。こども療育センター診療所から関係機関へ、薬の処方情報は提供していない。保護者が情報共有が必要と判断した場合に、保護者から提供されていると認識している。

その他の質問項目
●子どもの発達障害と向精神薬について［インフォームド・コンセントと副作用情報の周知］●子どもの発達と食事について［発達障害の子どもに食事で関わる取組／公立の保育園・認定こども園・小中学校の給食］

加古川市の美観向上について

柘植　厚人　議員
（かこがわ未来の会）

二次元コード

問 劣化、汚損した電柱幕や看板、クッションドラム、道路案内看板の放置は、道路情報を伝える機能を失うだけでなく、交通安全や景観を損ねる原因となっている。現状を調査し撤去または改善すべきと考えるが、所見はどうか。

答 市道には、安全対策として電柱幕や看板等を設置している。設置から相当の期間が経過し、本来の機能を果たさなくなったものについては、撤去または再設置を行っているが、市域全施設の状況を把握するまでには至っていない。新規に対応が必要な箇所を優先し設置しているが、既存の設置状況を把握する調査にも取り組み、撤去や再設置にも対応していく。

問 街の中心部の道路脇および中央分離帯に伸びる雑草は、美観を損なうだけでなく、自動車運転手が歩行者を発見するタイミングを遅らせる危険がある。除草回数を増やすべきと考えるが、所見はどうか。

答 例年、雑草の繁茂状況を確認し、年に2回程度除草を実施している。しかし、近年、集中豪雨などの影響により降雨量が増加し、雑草の成長が想定を上回る現状にある。今後は、道路の状況を確認し、必要に応じて速やかに除草作業を行うなど、柔軟な対応をしていく。

その他の質問項目
●加古川市の美観向上について［ポールの本数の見直し／自転車レーンのデザインの見直し］

一般質問

二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各議員の質問の様子を動画でご覧いただけます。

国内の都市との交流促進と姉妹都市・友好都市提携について

問 本市には、レガッタの交流や「棋士のまち」としての歴史・文化資源がある。これらを生かした交流やイベントの推進は、観光や地域ブランド発信の重要な戦略となることから、国内の都市との提携を見据えた方策が必要だと考える。全国にPRするための広報戦略や観光誘客など、具体的施策についての所見はどうか。

答 本市ゆかりのプロ棋士が7人いるという全国的にも類を見ない恵まれた環境から「棋士のまち加古川」を標榜し、将棋を通じたまちづくりに取り組む自治体が一堂に会する「全国将棋サミット」に参加している。また、加古川を生かした取り組みのレガッタでは、市域に漕艇場を有する自治体で構成する「全国ボート場所在市町村協議会」に加盟し、全国交流レガッタ大会などに参加している。これらの活動を通じ、他自治体との交流を深めるとともに、本市の魅力を広くPRし、認知度の向上に努めている。引き続き、関係者や団体と連携し、さまざまなイベントや機会を通じて全国に発信するとともに、観光誘客や交流拡大に向けた施策を推進し、地域ブランドの強化と交流の拡大を図っていく。

玉川　英樹　議員
（創生加古川）

二次元コード

その他の質問項目

●国内の都市との交流促進と姉妹都市・友好都市提携について［全国の自治体との交流・連携の状況と国内提携／候補都市選定と提携の方針／青少年・市民の交流促進策］

常任委員会は毎月開催しています

常任委員会は原則として毎月開催しており、所管事務調査等を行っています。主なものは次のとおりです。

■総務常任委員会

10月17日㈮
・加古川市平和祈念展の開催について

11月19日㈬
・令和7年度地域幸福度（Well-Being）調査の実施結果について

■福祉教育常任委員会

10月20日㈪
・夏季休業期間延長に関するアンケートの実施について
・子育て世帯応援お米商品券配付事業の実施について

11月20日㈭
・野口公民館リニューアルオープンについて
・中学校給食に関する生徒向けアンケートの結果について

■産業環境常任委員会

10月21日㈫
・かこバスミニ・山手ルートの延伸について
・尾上町今福地区における漏水事案について

11月21日㈮
・東播臨海広域市町圏における電力地産地消事業パートナー候補者選定に係る公募型プロポーザル選定結果について
・家庭用廃食油回収ボックスの設置について

議会は、ご自宅でもご覧いただけます

生中継

○**テレビで**・・・**BAN-BANテレビ12チャンネル**でご覧ください。
議会中継は、定例会の代表質問と一般質問のみです。
※視聴するにはチャンネルサーチが必要な場合があります。
詳しくは、BAN-BANテレビ（☎0120－86－2754）へお問い合わせください。

○**インターネットで**・・・市議会ホームページ**「映像配信」**の**「ライブ中継を見る」**からご覧ください。

録画配信

○**インターネットで**・・・市議会ホームページ**「映像配信」**からご覧ください。令和3年第2回定例会以降の模様を録画配信しています。

※スマートフォン等でもご覧いただけます。P12の右下に、直接アクセスできる二次元コードを掲載しています。

点字議会だよりを発行しています

議会だよりの内容を一部抜粋し、点訳したものを発行しています。

点字議会だよりは、議会事務局、障がい者支援課、中央図書館、加古川市社会福祉協議会に設置していますので、お読みになる際は、各施設の職員までお声がけください。

視察レポート

市議会の各常任委員会では、先進的な取り組みを本市の市政向上に役立てることを目的に他都市を視察しています。

総務常任委員会

令和7年11月4日～6日

長崎県長崎市は、救急活動時間の短縮を含めた効果的な救急搬送体制を確立するため、マイナンバーカードを活用し、傷病者の医療情報を迅速に取得することで、適切な搬送先の選定や処置に役立てることを目的とした実証事業を令和6年度から行っている。

また、地域防災力を向上するために、長崎市民防災リーダーやながさき防災サポーターなどの市民防災リーダー等の養成・活動促進に取り組んでいる。

鹿児島県薩摩川内市は、遊休公共施設の利活用を推進するため「遊休公共施設等利活用促進条例」を平成28年4月に制定し、閉校跡地の利活用を更に推進するために平成29年4月に同条例の改正を行った。閉校跡地の利活用により、維持・管理経費等を抑制することができ、閉校となった地域で事業が営まれることで地域の活性化が図られ、地域での雇用にもつながっている。

山口県山口市は、過去に台風の影響による甚大な被害を受けた経緯があり、共助の重要性から地域住民による避難体制づくりに注力している。また、県の自主防災アドバイザーなどが中心となり、地域特性に合わせた避難訓練を実施している。

高齢化による担い手不足、自主防災への意識の希薄化などの課題に対しては、講演や研修等で自主防災組織の必要性を周知し、職員等の派遣による自主防災組織設立の支援に取り組んでいる。

視察先	調査事項
長崎県長崎市	マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業について
	地域防災力の向上について
鹿児島県薩摩川内市	閉校跡地の利活用について
山口県山口市	防災・減災の取組について

福祉教育常任委員会

令和7年11月12日～14日

愛知県豊田市は、一人ひとりの安心な暮らしと生きがい、つながり合える地域をともにつくり、幸せを感じられる「地域共生社会」を目指し、令和3年度から重層的支援体制推進事業を実施しており、福祉部をはじめ、9部35所属が連携して体制を構築している。また、民間事業所等の任意の集まりとして「とよた多世代参加支援プロジェクト」を設立し、既存の制度等では対応できない場合に、本人のニーズと地域資源とのマッチングを図り、オーダーメイドの支援を創出している。

神奈川県鎌倉市は、「自分らしく学び自分らしく成長できる学校」をスクールビジョンとして、令和7年4月に学びの多様化学校である由比ガ浜中学校を開校している。特色として、生徒の安心を育む充実した体制や自分のペースで学べる柔軟な教育課程、鎌倉の豊富な教育資源を最大限に活用し、地域とつながり、多くの人と関わりながら体験的に学ぶ新教科「ULTLA」などに取り組んでいる。

神奈川県藤沢市は、急増するニーズに対応するため、従来1公益財団法人が担っていた放課後児童クラブの運営体制を転換し、社会福祉法人、学校法人、NPO法人、民間企業など複数の団体と協定を結んで運営の多元化を進めている。活動内容は「安心して安全に過ごせる生活の場」を基本としつつ、英語教室等の習い事を提供するなど、事業者ごとに特色や強みを生かした運営を展開している。

視察先	調査事項
愛知県豊田市	重層的支援体制について
神奈川県鎌倉市	学びの多様化学校について
神奈川県藤沢市	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）について

産業環境常任委員会

令和7年11月12日～14日

宮城県仙台市は、町内会や商店街、地権者等と行政が連携し、公共空間や民地における滞在環境の向上に取り組んでいる。片側一車線を削減することによる歩道拡張や緑道整備、インフラ整備等を図るほか、歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用して歩道にベンチやテーブルを配置し、民間主体で飲食や物販等のイベントを行う社会実験の実施など、官民が連携し、多様な人々の出会いや交流が生まれる都心づくりを進めている。

▲仙台市中心部に位置する定禅寺通

岩手県盛岡市は、長年、一部未整備状態だった中央公園を整備するため、令和元年に公募設置管理制度を活用し事業者選定を行った。これにより民間事業者は、施設の収益を公園整備に還元することを条件に都市公園法の特例措置がインセンティブとして享受でき、また、行政は財政負担などが軽減した。現在、園内には飲食店やこども図書館、保育園などが設置され、新しい仕組みで運営する開かれた施設として地域に親しまれている。

栃木県小山市は、地域資源である思川や城山公園などを活用し、人々が集い、居心地よく歩きたくなるまちなかづくりを進めている。小山駅周辺エリアが2054年までに目指す姿を視覚的に共有するため、民間と行政が連携し「PLAN OYAMA」を取りまとめ、各エリアの将来ビジョンに基づき、一部歩道をオープンテラス化する社会実験や継続的なイベントの実施により、歩行者数や滞留人口の増加が期待されている。

視察先	調査事項
宮城県仙台市	まちなかウォーカブル推進事業について
岩手県盛岡市	Park-PFI（公募設置管理制度）を活用した公園整備事業について
栃木県小山市	ウォーカブルなまちづくり（小山駅周辺のまちづくり）について